

地域密着型サークルにしき恋

にしき恋とは

丹波篠山市西紀南地区で活動している団体。
神戸大学生を中心に約140人で構成されている。
活動内容は大きく分けて3つあり、
農業ボランティア、丹波黒枝豆・黒大豆の生産・販売
地域と交流するプロジェクト活動である。



農業ボランティア

にしき恋のメインの活動
西紀南地区の農家さんのもとへ行き、農作
業のお手伝いを行っている。
毎週末と祝日に行っている。
10月などの農繁期は1日最大40名ほど参加
し、10名以上の農家さんのもとへ分かれて
活動している。

2025年度は約850回の活動(2月時点)

丹波黒枝豆の 生産・販売

農地を借り、「にし恋ファーム」と名付け、
学生主体で丹波黒枝豆・黒大豆の栽培、及
び商品化、販売まで行う。

オンラインでの販売や、大学内での販売、
新大阪駅の駅マルシェでの出店を行って
いる。丹波篠山の名産である丹波黒枝豆・黒
大豆を広めていくことで、丹波篠山市の魅
力の発信を目的に行っている。

プロジェクト活動

地域の方々との交流を目的に、農業とは違
った観点から地域交流を行っている。

例えば、駅Pでは拠点としてお借りしている
場所の最寄り駅である丹波大山駅を活性化
させるため、オオヤマルシェとして祭りの
開催や、中学校へスクールアシスタントを
行っている。

他にも、地域のお祭りのお手伝いの依頼な
ど、積極的に地域と関わることができるよ
うなことを探しながら行っている。

農家さんにとっての「日常」の体験 農家さんとの交流を重視



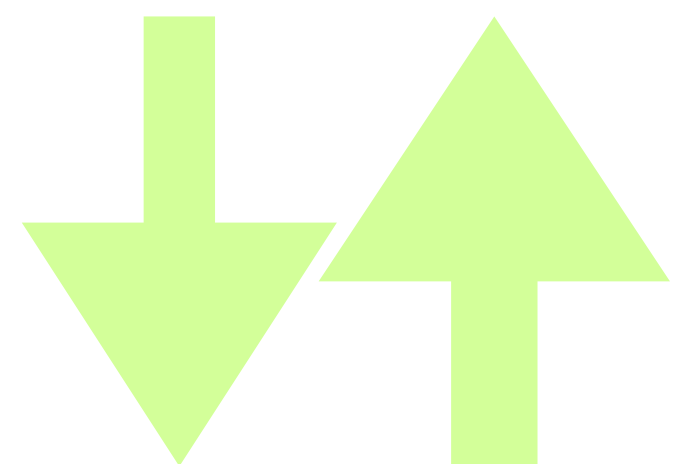
地域への提言 学生と地域の共生

学生団体として地域と交流する中で、
課題解決を念頭に置くと次世代へ次世代へと
意思を引き継いでいくのは困難。
地域との交流を深めていく中で、
地域への関心を深めていき、
そして地域連携へと進んでいく。
→長期的な関わりを生み出すのではないかと

にしき恋

提供するもの
・発想
・労働力
+
・地域への関心
・やる気

吸収するもの
・知識
・経験



地域資源

農村

多くの学生との関わりがある強みを生かす。

